

人間福祉専攻

Graduate School of Social Well-being Studies / Major in Social Services and Clinical Psychology

募集人員：博士後期課程5名 | キャンパス：多摩

主な進路：国立大学や私立大学の教員・研究員、独立行政法人研究員、医療機関（福祉職）、公務員など *継続在職者を含む

トータルな人間福祉を実現できる 理論的・実践的研究者へ。

人間の「生」(LIFE)をトータルに捉えられるカリキュラムを構成しています。福祉系、地域系、臨床心理学系の3つの柱があります。具体的には、1年次から3年次までの必修科目として「人間福祉特別演習」を設置し、論文指導を実施。また、多彩な特殊講義を選択・必修科目として設置しています。「福祉政策系」「福祉社会系」「福祉臨床系」「地域・政策系」「地域・文化系」「臨床心理学」があり、複合的な研究が可能です。論文指導では、指導教員のほかに副指導教員による複数指導担当制となっています。

21世紀の人間福祉を総合的に実現するための理論的かつ実践的研究者を養成することが本専攻の目標です。そのために、社会的に意義のある博士論文をまとめることを目指しています。開設以降、毎年課程博士を輩出していることも特色の一つです。

アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

入学者については、人間社会研究科の福祉社会専攻または臨床心理学専攻の修了者、あるいはそれと同等の知見や研究能力、一定の英語力を有していることを基準に、修士課程修了の一般学生のほか、研究職や高度な専門職に就いている者などを積極的に受け入れている。入学にあたっては、既執筆論文と論文執筆計画の提出を求め、それらに基づく口述試験（面接）を行う。併せて英語に関する筆記試験によって入学者を決定する。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

自立して研究を行う能力を修得すること、併せてその基礎となる豊かな学識を養うことを目的として教育課程を編成している。必修科目「人間福祉特別演習Ⅰ～Ⅲ」と7系統の「特殊講義」科目を合わせて20単位以上の修得を必須とする。また、1年次の学位論文構想発表と2、3年次の学位論文中間発表を義務付けている。指導教員は1年次から、副指導教員は2年次から定め、両者が協力して博士論文完成に向けて指導に当たる。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本専攻では、現代社会においてウェルビーイングを実現することができる人材の養成という人間社会研究科の教育目標を踏まえ、修士課程の福祉社会専攻と臨床心理学専攻、それらの学問領域に関連する専門分野において自立して研究を行う能力を修得することを、学位授与の方針として設定している。

研究室紹介 | 人々の生きる力を育む側面にも光を当てる

石井教授 | ケアマネジメント論、健康と福祉と spirituality の統合研究と人材育成

大学院人間社会研究科(人間福祉専攻)は博士後期課程として毎年国内外の院生を社会に送り出しています。修士課程で研究方法の原理と方法論はすでに学んでいるため、博士後期課程は自立した研究への取り組みが重視されています。その過程で多くの教員や仲間と時には研究に関して熱く議論し、また社会人として語り合うこともあります。国内外をフィールドとした研究レベルも年々上がってきており、教員にとっても研究成果には新しい知見をともに楽しみ喜び時間が与えられています。在学中は修士課程の院生へのチューターとして、留学生や障がいのある院生への支援にもご協力いただくなど専攻を超えた院生同士の結びつきも強くなっています。将来のWell-beingの実現に向けて、人間社会研究科の教育・研究の意義はますます重要になると考えています。



Voice |



博士後期課程 2015年度修了
高沢 佳司

〔研究テーマ〕
構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究

研究成果を分かりやすく伝える手法や効果的な主張の仕方にも身に付きます

私の研究

人間が頭の中に思い描くイメージ(表象)と、それに対する自己との心理的距離の調整に関する研究を行っています。特に、ネガティブな表象が自己にとって近く感じられるような嫌悪的状況がなぜ起こるのか、どのように改善しようかについて関心を持っています。一連の研究を通して、新たな心理療法や心理教育の開発に寄与できればと考えています。

学んだこと、身に付いたこと

入学してからすぐに、論文執筆の仕方について詳細で多角的なご指導をいただいております。また研究の進め方はもちろんのこと、研究成果を分かりやすく伝える資料作成の仕方、効果的な主張や指摘に対するディフェンドの仕方なども身に付けることができます。特にゼミではプレゼンテーションの機会をたくさんいただき、先生や院生同士での討論を重ねることで自信につながっています。

■専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

石井 享子 教授 専 保健福祉学、公衆衛生学
研 well-beingと人材育成、ケアマネジメント特論

担 ※2016年度はサバティカル(研究専念年度)です

岩崎 晋也 教授 専 社会福祉原理、社会福祉思想
研 社会福祉原理・思想

担 福祉社会系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

小野 純平 教授 専 臨床心理学、生涯発達心理学、心理検査学、心身障害学
研 被虐待の心理援助、発達障害のアセスメントと支援、知能検査法

担 臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ/Ⅱ

佐藤 繭美 教授 専 ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援
研 当事者・家族への支援、死別ケア

担 福祉臨床系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

末武 康弘 教授 専 臨床心理学、カウンセリング・心理療法
研 クライアント中心療法(パーソンセンタードセラピー)、
フォーカシング指向療法の理論的・実践的研究

担 臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

関谷 秀子 教授 専 児童青年精神医学、精神分析学
研 思春期青年期の発達、精神分析的精神療法、親ガイダンス

担 臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

中村 律子 教授 専 高齢者福祉論、老いの社会的・文化的研究
研 高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究

担 福祉社会系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

丹羽 郁夫 教授 専 臨床心理学、コミュニティ心理学
研 子どもの心理療法、ソーシャルサポート・ネットワーク、コンサルテーション、移行対象

担 臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

馬場 憲一 教授 専 文化環境政策(文化環境創造論)、文化遺産学、歴史学
研 文化環境を創造し持続するためのシステム研究、
地域社会における文化遺産とその保存・活用研究

担 地域・文化系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ/Ⅱ

水野 雅男 教授 専 地域経営論、市民活動運営論
研 地域木造住宅保全システム研究、被災地復興地域づくり研究、創造都市研究、
医療経済研究

担 地域・文化系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ/Ⅲ

保井 美樹 教授 専 都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究
研 欧米の都市環境システム論、官民連携による地域再生研究、
コミュニティ・イノベーション研究やエリアマネジメントに関する研究

担 地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

■設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

<博士後期課程>

福祉政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

福祉社会系特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

福祉臨床系特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

地域・文化系特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ/Ⅱ(各2)

人間福祉特別演習Ⅰ～Ⅲ(各4)

伊藤 正子 教授 専 社会福祉方法論、異なる民族・文化的背景を持つ人々への社会福祉援助
研 外国人労働者の生活問題、多文化ソーシャルワーク

担 福祉臨床系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

岩田 美香 教授 専 児童・家族福祉論、教育福祉論
研 子育て・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に対するソーシャルワーク

担 福祉臨床系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

久保田 幹子 教授 専 森田療法、比較心理療法、心理検査法
研 不安障害・強迫性障害に対する森田療法、女性の心理的危機、比較心理療法など

担 臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

眞保 智子 教授 専 若者支援論、人的資源管理論、障害者のキャリアデザイン
研 若者就労支援、障害者雇用、企業における精神科ソーシャルワーク

担 精神保健福祉特論 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

関司 直也 教授 専 農業経済学、農山村政策論、地域資源管理論
研 農山村における地域マネジメント論、外部人材と協働する農山村の地域づくり

担 地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

土肥 将敦 教授 専 ソーシャルイノベーション 社会的企業家、CSR
研 ソーシャルイノベーションの創出と普及、社会的企業家研究、CSR研究

担 地域・政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

長山 恵一 教授 専 比較精神療法、精神医学
研 内観療法・森田療法・精神分析の臨床と研究、ウェーバー社会学と精神科学の関連

担 臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

服部 環 教授 専 教育心理測定学、心理データ解析
研 項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用

担 臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

布川 日佐史 教授 専 公的扶助論、雇用政策論
研 就労支援と生活保障の日独比較、生活保護自立支援プログラムの検証

担 福祉政策系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ

宮城 孝 教授 専 ボランティア、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
研 コミュニティソーシャルワーク方法論、超高齢化地域における包括的な支援策

担 福祉臨床系特殊講義Ⅰ/Ⅱ 人間福祉特別演習Ⅰ～Ⅲ

金築 優 准教授 専 認知行動療法
研 認知行動療法の理論(特に知覚制御理論)に関する研究

担 臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ/Ⅱ

■修了生の研究テーマ

- 近現代における遺跡保護とその担い手に関する研究
ー制度・政策と地域社会の動向をふまえてー
- アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- 大正期から昭和初期の社会事業における民間助成財団の意義と役割
ー財団法人原田積善会を事例としてー
- 日本における市民活動の形成と社会的地位に関する研究
ー1970～80年代より活動を続ける市民活動団体に着目してー
- 教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多角的な研究
ー教師Well-being尺度の作成ー
- 介護老人福祉施設における経営成果とその影響要因に関する研究
(介護保険制度下における施設経営への制度的・組織的要因に関する実証分析)
- 自ら支援を求めない独居高齢者への地域を基盤としたアウトリーチ実践に関する研究